

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	南海トラフ大地震災害支援シミュレーション
資金分配団体:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実行団体名:	特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	宮崎県
事業対象者:	宮崎県を中心とした太平洋沿岸に暮らす方および山側から支援に向かう方

Version 1.2

日付: 2021年9月30日

## I. 事業概要

<p><b>事業概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本豪雨災害ではコロナ禍の影響で近隣の安全地域だが他県のため動けなかった。南海トラフ大地震災害が想定されている宮崎県の太平洋沿岸と、山側の安全地域、熊本、鹿児島、大分などのネットワーク構築と、緊急連絡リストの作成・共有。災害時に迅速に支援が出来るよう顔の見える関係づくりを行う。</li> <li>コロナ禍での災害支援の具体的な手法について、災害支援コーディネーター経験者、宮崎県内のキーマンが連携し、ZOOM会議を重ね、災害支援マニュアルを作成する。会議は録画し、編集後YOUTUBEにアップし、視聴者の意見を抽出し参考にする。災害に遭ったことのない方や支援活動を行ったことのない方に向けて、実際に経験した方の話を、出来るだけわかりやすく掲載し、多くの方に見ていただくことで防災に繋げる。</li> <li>熊本豪雨災害で被災した、球磨村の「さんがうら田舎の体験交流館」、八代市坂本町の「リポーン」と連携し、同地域の復興支援を行う。</li> </ul>
--

## II. 進捗報告の概要

<p><b>総括</b></p> <p>ZOOM会議は月1回程度の開催および動画の編集、YOUTUBEへのアップなど順調に進んでいる。一般の方にどう見せると効果的なのかを検討中。毎回2時間程度の会議動画と事前打ち合わせの時の動画を、テーマ性を重視して編集し、ホームページにまとめたと思っている。球磨村の「さんがうら田舎の体験交流館」については、都市と農村の交流を取り戻すために、フットパスコースを2コース作成中。コース設定は終了し、モニターツアーを実施中。八代市坂本町の「リポーン」は復旧および復興の拠点づくりを行い、既に事業費は使い切った。一般向けのボランティア企画を模索中。</p>
---

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の緊急連絡リストの作成および配布</li> <li>電子データによる災害支援マニュアルの作成（定期的に更新出来るよう、電子データとする）</li> <li>ZOOM会議のYOUTUBEでの公開</li> <li>さんがうらフットパスコースが2コース完成、来年度からイベント開催。</li> <li>リポーン復興支援拠点の完成、ボランティア企画の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半4回のZOOM会議が終了したが、この情報をホームページとしてまとめ、宮崎県内の公民館や地域づくり団体、市町村の社協、防災士などに紹介し、そのメンバーをリスト化して電子データとして2月末にメンバー間で共有する。</li> <li>災害支援マニュアルについても、ホームページと連動させ、2月末には完成させる。</li> <li>ZOOM会議については、その都度編集し、YOUTUBEにアップしている。</li> <li>さんがうらフットパス2コース視察、コース設定、モニターツアーまで終了。今後、イラストマップ&amp;ガイドの印刷物作成、住民説明の開催、道標の作成・設置。</li> <li>リポーン復興支援施設完成、11月後半にボランティア企画の開催準備中。</li> </ul>

活動	進捗状況	概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ大地震災害が想定されている太平洋沿岸の地域と、山側の安全地域とのネットワーク構築と、緊急連絡リストの作成・共有</li> <li>宮崎県内の地域づくり団体、公民館、企業、行政のキーマンが直接つながるネットワークを構築し、携帯電話、FB、LINEなど、災害時に直接連絡可能な緊急連絡先リストを作成する。まずは、既に関係性がある個人や組織と連携し、そこから口コミで更なる連携を図る。具体的な組織としては、宮崎県地域づくりネットワーク協議会、宮崎県社会教育団体、宮崎県公民館連絡協議会、宮崎県生活・協働・男女参画課、市町村の防災担当課など</li> <li>ZOOM会議によるコロナ禍に対応した災害支援マニュアルの作成</li> <li>上記宮崎県内のネットワークと、全国の大規模災害（東日本大震災、広島豪雨災害、熊本地震災害、熊本豪雨災害など）の支援に関わったコーディネーターが集い、月1回、90分程度のZOOM会議を重ね、コロナ禍でも使える災害支援マニュアルを電子データで作成し、関係者間で共有する。ZOOM会議での発言者は毎回10名程度に限定するが、チャット機能や、編集後のYOUTUBE配信により、多様な意見を抽出し反映させる。</li> <li>熊本豪雨災害で被災した、球磨村の「さんがうら田舎の体験交流館」、八代市坂本町の「リポーン」と連携した同地域の復興支援</li> <li>各組織のキーマンとZOOM会議を重ね、具体的な復興支援計画を作成する。可能な範囲で休眠預金の予算を使い、出来る限りの活動を行う。必要に応じて、上記で繋がった宮崎県内の個人や組織、全国のコーディネーターの力も借りて支援を行うことで、より高い効果を上げる。実際に支援活動を行うことで、コロナ禍での課題と対処法がより明確になる。</li> </ul>	<p>ほぼ計画通り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急連絡リストおよび災害支援マニュアルの作成を行うためのコロナ禍災害支援ZOOM会議を月1回程度のペースで開催している。今後、一般の方にも分かりやすいホームページまとめ、チラシを作成し、宮崎県内の防災のキーマンにオンラインまたは直接会って説明し、ネットワーク構築を図る。</li> <li>球磨村「さんがうら田舎の体験交流館」、八代市坂本町「リポーン」の支援は順調に進んでいる。</li> </ul>

## IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の基礎となるZOOM会議では、既に過去の大災害を経験した方を講師に、非常に良い話が聞けている。後は一般の方にどうやってこの有効な情報を伝えるかが重要となる。まずは2時間程度の会議の無駄な部分を削除した動画をYOUTUBEにアップしているが、それをそのまま見ていただくことは難しい。なので、出来るだけ話の要点を絞り込み、10分程度に切り分け、目次立てをし、ポイントを文字とイラストで起こし、ホームページにリスト化した形で掲載する。4月、5月、6月、7月、9月に行ったZOOM会議についてまずはまとめ、完成した時点で広報用のチラシデータを作成し、FBやメール、直接会いに行くなどの対応で、ネットワーク構築を図る。</li> <li>球磨村「さんがうら田舎の体験交流館」についてはフットパスコースは完成。今後はモニターツアーを開始しコースマップ作りに必要な写真の撮影、イラスト地図の作成、住民説明会の開催を行う。来年度には参加費を設定した本格的なイベントを春と秋に行いたい。</li> <li>八代市坂本町「リポーン」については、今後もずっと開催できるボランティア企画の作成を行う。</li> </ul>

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥5,506,800	¥5,506,800	¥1,845,613	34%
	管理的経費	¥0	¥613,096	¥613,096	¥23,400	4%
合計		¥0	¥6,119,896	¥6,119,896	¥1,869,013	31%
補足説明		・管理的経費の人件費以外の分を計上出来ていない。4月～9月分を計算し、計上させていただきます。 ・委員の謝金については、月当りの支払額が少ないので、1期目4月～7月、2期目8月～11月、3期目12月～2月でお支払いします。				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
宮崎県は県行政として南海トラフ大地震の警戒を強めているが、住民には伝わっていないように思う。更にたった今、大災害が起これば、新型コロナウイルスは、昨年の熊本豪雨災害同様、支援の足かせとなる。事前に出来る事を具体的に地域リーダーに伝え、顔の見える関係性を構築しておくことが最善の方法であると思う。今年度中になるべく多くの方と連携を図り、活動が風化しないよう、来年度以降も継続することが何よりも重要であると思う。

#### VII. その他

自由記述
当初から宮崎県男女協働参画課の地域防災担当者にはZOOM会議を視聴いただくよう促していたが、参加が得られていなかったが、9月の会議に個人として初めて参加いただけた。

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	有	令和3年7月3日、「周囲の支え力に、前へ」、宮崎日日新聞、災害発生後1年を迎えた被災地の状況、八代市坂本町「リボン」の溝口さんの状況について、その他スキャンデーターを添付。
広報制作物等	有	YOUTUBU動画 「コロナ禍の避難・支援を過去の災害から考察」 第1回「キックオフミーティング」 <a href="https://youtu.be/lZBvErRj3C4">https://youtu.be/lZBvErRj3C4</a> 第2回「岩手宮城内陸地震・東日本大震災」に学ぶ <a href="https://youtu.be/mBL8Rv1kN88">https://youtu.be/mBL8Rv1kN88</a> 第3回「広島水害・和歌山の防災」に学ぶ <a href="https://youtu.be/Cvz-JM0KKB8">https://youtu.be/Cvz-JM0KKB8</a> 第4回「熊本地震災害」に学ぶ <a href="https://youtu.be/qEeOYluU7Q0">https://youtu.be/qEeOYluU7Q0</a>
報告書等	無	

#### IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に窓口を設置